

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2015年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2016年 4月 21日 提出

| | |
|---|------------------------|
| 1. 研究課題名 | |
| 近代京都の市街地の形成と建築様式・用途との関連性に関する研究 (英文標記: _____) | |
| 2. 研究代表者 | |
| 氏名(ふりがな) おおば おさむ | 所属機関・職名 |
| 大場 修 | 京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授 |
| 3. 研究分担者 (合計: _____ 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください | |
| 氏名(ふりがな) | 所属機関・職名 |
| 矢野 桂司 | 立命館大学教授 |
| 橋本 歩美 | 京都府立大学大学院生 |
| 河角 直美 | 立命館大学文学部非常勤講師 |
| 高木 良枝 | 立命館大学客員研究員 |
| 福島 幸宏 | 京都府立総合資料館庶務課副主査 |
| 上原 智子 | 京都市・景観まちづくりセンター事務局次長 |
| 辻 真紀子 | 京都市・景観まちづくりセンター事業第一課長 |
| 宗野 ふもと | 京都市・景観まちづくりセンター事業第一課担当 |
| 高橋 彰 | 京都市・景観まちづくりセンター事業第二課担当 |

| |
|--|
| 4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点分かるように明記してください) |
|--|

全市に及ぶ大きな戦災を免れた京都市には、市内に4万8千棟もの町家が今なお残る^{文1)}。しかし現在の市街地は画一的な宅地開発や建築活動が進み、町家の数は確実に減少し続け、地域の特性や景観が失われつつある。

地域の景観形成に資するまちづくりの方針を考える上で、今日の地域が形成された要因を歴史的・建築的に理解することが不可欠であるが、これまで、近代京都の市街地の形成過程と特に建築様式との関係性に焦点をあてた研究は少ない。

本研究は、明治以降、とりわけ三大事業以降の京都の市街地の変遷過程を地域ごとに空間的に把握し、その背景となった社会経済状況、及びそうした社会活動の受け皿としての学区や地域、さらには住宅・建築様式等との関係性を総合的に把握することで、近代京都の市街地形成を史的に整理・解明する。

文1) 京都市・財団法人京都市景観まちづくりセンター・立命館大学「平成20・21年度「京町家まちづくり調査」記録集」平成23年3月

5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

本研究は、京都の郊外住宅地がどのように市街地化されたのか、西陣地区西部の郊外住宅地区に加え、南区東九条周辺を取り上げた。26年度に確立した方法論を援用し、現地調査をこれに重ねつつ検討した。加えて、西陣地区西部における戦前の区画整理地区における新型町家の建築類型の把握に努めた。関連して、戦前期における新聞広告を悉皆調査し、これらがどのように市場に流通したのか、を探った。

具体的には、京都市西部及び南部東九条地域を取り上げ、市街地の拡張過程を26年度に開拓した研究手法を援用しつつ明らかにした。具体的には、明治22年発行の仮製地形図(京都)から明治期の状況を復元的に検討した上で、明治中期以降の宅地化の状況を詳細に検討するために、地籍図(大正元年)や2種の京都市明細図(昭和初期・昭和20年代)を用いつつ土地利用の変遷過程を押さえ、さらに土地台帳から農地から宅地への「地目変換」の状況とその時期を特定しつつ地図に落とすことで、住宅地形成の過程を宅地の一筆単位で捕捉した。その際、立命館大学歴史都市防災研究センターにより作成されたGIS地図データを多用した。あわせて、現地調査による現存する住宅遺構の建築調査によりこれらの郊外住宅の建築類型を把握した。

6. 研究業績

(1) 著書 なし

(2) 論文 なし

(3) 研究発表等

- ・橋本歩美・河角・大場「近代京都における市街地形成と土地区画整理事業に関する史的研究-京都市西部を事例に-」『日本建築学会近畿支部研究報告集』査読無、2016,6月
- ・吉川貴絵・葉狩由衣子・河角・大場「近代京都における市街地拡張にともなう町家形成に関する史的研究」『日本建築学会近畿支部研究報告集』査読無、2016,6月
- ・原田萌・河角・大場「『京都日出新聞』広告にみる戦前期京都における住宅地分譲の売買動向」『日本建築学会近畿支部研究報告集』査読無、2016,6月
- ・中村莉乃・小畑紗良・河角・大場「近代京都の市街地南部における住宅地拡張に関する研究」『日本建築学会大会学術講演梗概集』査読無、2016,9月

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

- ・研究会 H27/7/26・H27/11/30、於『京都市景観・まちづくりセンター』
- ・成果報告会、H28/2/15、於『京都市景観・まちづくりセンター』
- ・成果報告会、H28/2/19、於『立命館大学歴史都市防災研究所カンファレンスホール』

(5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

- ・講演会 H28/3/21 京都市景観・まちづくりセンター「京町家再生セミナー」大場 修「近代京都のなかの京町家」

(6) 受賞学術賞 なし

(7) 科学研究費助成事業 なし

(8) 競争的資金等(科研費を除く) なし

(9) その他